

©平成17年10月1日発行
発行・財団法人交通遺児育英会
〒102- 東京都千代田区平河町2-6-1
0093 (電話) 0 3 (3 5 5 6) 0 7 7 1
(HP) http://www.kotsuiji.com

君とつばさ



つどい

親睦深め、デイズニー満喫

中四国、九州から124人参加

17年度の「高校奨学生と保護者のつどい」が8月20日から22日まで、千葉市の幕張プリンスホテルと東京デイズニーランドで開催された。全国3ブロック制になって1巡目が終わることしは中国、四国、九州地区が対象。51家族124人が参加し、同じ境遇にある者同士が語り、親睦を深めた。

初日は午後1時15分から開会式。穴吹俊士専務理事のあいさつに続いて、元アメリカンフットボール・チャリダーの齋藤佳子さんが「逆境をプラスにかえるポジティブ・シンキング」と題して講演した。このあと、奨学生、保護者がそれぞれ6グループに分かれて分科会方式による懇談会を行った。

奨学生グループは、卒業後の進路、育ててくれた人

に伝えたいことなどがテーマ。将来就きたい職業、や葉少なめながら「ありがとう」の感謝を口にした。これま

保護者グループでは、現在の生活や直面する問題などが話し合われた。これまで3日目は閉会式のと、

(2、3面に特集記事)



2回目となる17年度の海外語学研修が7月下旬から8月上旬にかけて実施され、高校奨学生31人が生の英語に触れるとともに、世界の若者と交流することによって国際感覚を身に付けて帰国した。



ことしの研修は、昨年と同じ英国ソールズベリーに27人派遣したほか、AFSとの提携によって新たにカナダに3人、タイに1人を派遣した。

いずれも現地の家庭にホームステイしながら英語学校や高校に通うとともに、スポーツや課外活動、行事への参加を通じて、その国の歴史や文化にも触れた。

研修生が痛感したのが、会話力のなさ。読んだり書いたりすることは比較的にきても、リスニングやスピーキングが苦手。日本人の引込み思案も手伝って、最初はホストファミリーとの意思疎通にも苦労。それでも後半には、何とか聞き取り、言いたいことを伝えることができた。

おこわり「あしながおじさんQ&A」「高校生の声」は休みます。

初めての試みとして希望者が32人が東京都日野市の学生寮「心塾」を見学した。

来年の「つどい」は北海道、東北、関東地区を対象に、8月5日から2泊3日の予定で開かれる。

静岡県、東北3県で相談会

17年度の「高校奨学生と保護者の相談会」がスタート。7月19、20日に静岡県、9月10、11日に東北3

県(岩手、秋田、山形)で実施した。「入試に合格しても、入学時の負担が頭痛い」「本人

はバイトでやっていくというが、授業料が何とかならないか」といった経済不安を訴える声が目立った。

進学に戸惑っていた父子は、心塾の存在を告げると「希望が出てきた」とこり。コンビニに就職が決まった母子は、ほっとした表情で報告して帰った。

東北3県

奨学生グループは、卒業後の進路、育ててくれた人

に伝えたいことなどがテーマ。将来就きたい職業、や葉少なめながら「ありがとう」の感謝を口にした。これま

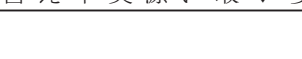
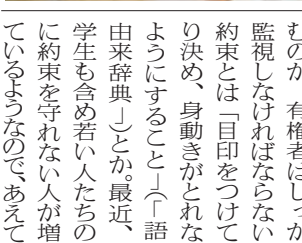
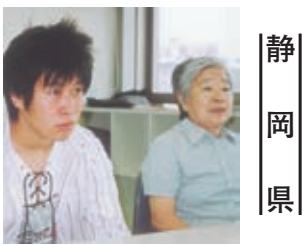
保護者グループでは、現在の生活や直面する問題などが話し合われた。これまで3日目は閉会式のと、

おこわり「あしながおじさんQ&A」「高校生の声」は休みます。

初めての試みとして希望者が32人が東京都日野市の学生寮「心塾」を見学した。

来年の「つどい」は北海道、東北、関東地区を対象に、8月5日から2泊3日の予定で開かれる。

(2、3面に特集記事)



イギリス人の

時間のルーズさは、よく知られている。待ち合わせ時間に遅れることなく、ほとんどの気がしない。5分前には行くのが礼儀、と考える日本人とは大違い。福島典子さんは、本会の海外語学研修を現地ですべてのスタッフが一人だ。ホームステイのファミリーを決めたり、英語学校との交渉事いっさいを取り仕切っている。ななくてはならない存在だ。その福島さんがこの夏、仕事仲間のイギリス人と食事の約束をした。ところが、なかなか来ない。30分ほどして「あと30分で行く」との電話。実際にやって来たのは、約束の時間から1時間近くもたっていた。福島さん、いわく。「そんなこと気にしていたら、この国では生活できないわ」▼同じ約束でも、政治の世界となると様相が一変する。保守労働党などの政党は選挙前政権を取った場合に実現する政策とその実施時期、数値目標などを発表し、それをもとに有権者の審判を仰ぐ。政権をとれば、その表現、すなわち約束の履行が求められる▼日本でもつい最近、マニフェストが出されるようになり、先の総選挙で各党が出したが、はたして日本の政党はどこまで真剣に取り組むのか。有権者はしっかりと監視しなければならぬ▼約束とは「目印をつけて取り決め、身動きがとれないようにすること」。「語源由来辞典」とか。最近、奨学生も含め若い人たちの中に約束を守れない人が増えているようなので、あえて苦

「つどい」特集

1日目

「います」とあいさつした。

初日、正午前後から大きな荷物を持った参加者が続々、舞台となる千葉市の幕張プリンスホテルへ。大ブ・シンキング」と題して講演。フォーティナイナーズのチアチーム「ゴールドラッシュ」のオーディションに日本人で唯一合格、フィールドに立つまでの挑戦と苦難を乗り越えた体験などを披露。常に前向きな姿勢と笑顔がその支えだったとの話に、参加者は引き込まれていた。

午後1時15分、開会式。いよいよ17年度の「つどい」の幕開けだ。

穴吹俊士専務理事は「みなさん出身地区は違っても、交通安全の被害者という立場は同じ。日ごろ胸にしまっている気持ちを表に出して思う存分語り合い、心を軽くしてほしい。2日目は親子で、また新しい友達とティズニーを楽しんでほしい。すばらしい「つどい」になることを期待して

午後4時から、奨学生、保護者ともに6グループに分かれて懇談会の分科会を開いた。



同じ境遇 同じ悩み...それぞれの夢

胸のうちに語り合った2時間半 言葉少なに「母に感謝」

1年生はまだ決めかねている様子。それでも将来就きたい職業、やりたい仕事では、看護師、養護教諭、工業デザイナー、弁護士、キャビンアテンダントなど具体的に思い描いていた。

これまで育ててくれた母親たちには、心に感じている気持ちが言葉でうまく表現できないもどかしさのようなものがみられた。その結果、「ありがとう」「感謝している」「これから何をさせてあげたい」といった短い言葉にしかならない様子だった。

部活や携帯電話、アルバイト、小遣いなどは、日常生活そのものだけに、話しやすい話題。自分と他の参加者とを比較しながら聞き入っていた。

保護者グループは、日ごろ同じ境遇の人と話し合う機会がほとんどないだけに、相つちを打ったり、問題の解決法を教え合うなど、初対面とは思えない打ち解けた雰囲気。

話題の中心は「仕事が忙しく子どもとの触れ合い、会話の時間が少ない」「息



講演

(要旨)

私は高校時代、ホームステイでサンフランシスコへ行ったとき、初めてアメフトのチアリーダーを見た。チアの最高峰、NFLフォーティナイナーズの「ゴールドラッシュ」。アメリカ女性のお手本と思われて

逆境をプラスにかえるポジティブ・シンキング

いる彼女たちは、スタイルが良く華やかで笑顔もすてきだった。「大学ではチアをやる」と心に決めて帰ったが、大学のチアリーダー部は、求めたものとはちよと違っていた。

その2週間後、朝届いたバスケットを手に、午後、アメリカへ飛び立った。練習ではチームメイトにみ入れた私ははっとした。「これが私の夢だったのだ」



入った。激しく厳しい練習についていくのに必死だったが、そこで、チームワークを大切に常に笑顔で降、レシ取得が難しくなり、台つというのを学び、そ

ひしひし感じる。子どもは子どもなりに頑張っているが、さらに適性を見極め指導してほしい。ほとんどが母子家庭、父親がいないために判断に苦しむことがあるかもしれない。育英会はそつした人たちに応えたい

口座を開く際の苦勞、ペーパードライブに必要に迫られて運転を始めたら高速道路で事故。そして極めていい。ファストフードで英語をうまくしゃべれないばかりに女店員にばかりにされてしま

参加できることになった。セレモニは華やかそのもので、フィールドに足を踏み入れた私ははっとした。「これが私の夢だったのだ」

超満員のスタジアム全体に沸き起こる歓声、盛り上がる雰囲気。国歌斉唱が終わり戦闘機が3機、頭上を通り過ぎて行ったとき、感極まって芝生の上で大泣きしてしまった。

子どもを思う内容。た子どもを思う内容。不安が大きいつて、奨学金の増額、入学一時金の早期貸与を育英会に要望した

た子どもを思う内容。た子どもを思う内容。不安が大きいつて、奨学金の増額、入学一時金の早期貸与を育英会に要望した

た子どもを思う内容。た子どもを思う内容。不安が大きいつて、奨学金の増額、入学一時金の早期貸与を育英会に要望した

た子どもを思う内容。た子どもを思う内容。不安が大きいつて、奨学金の増額、入学一時金の早期貸与を育英会に要望した

た子どもを思う内容。た子どもを思う内容。不安が大きいつて、奨学金の増額、入学一時金の早期貸与を育英会に要望した

た子どもを思う内容。た子どもを思う内容。不安が大きいつて、奨学金の増額、入学一時金の早期貸与を育英会に要望した

た子どもを思う内容。た子どもを思う内容。不安が大きいつて、奨学金の増額、入学一時金の早期貸与を育英会に要望した

最後に、DVDで心塾を紹介。塾生の小笠原宇峰君と藤澤真紀さんが塾生活の実態を話して、この日のスケジュールを終えた。

最後に、DVDで心塾を紹介。塾生の小笠原宇峰君と藤澤真紀さんが塾生活の実態を話して、この日のスケジュールを終えた。

最後に、DVDで心塾を紹介。塾生の小笠原宇峰君と藤澤真紀さんが塾生活の実態を話して、この日のスケジュールを終えた。

最後に、DVDで心塾を紹介。塾生の小笠原宇峰君と藤澤真紀さんが塾生活の実態を話して、この日のスケジュールを終えた。

分科会II上から左へ奨学生グループA、F、保護者グループA、F

一緒に遊んで食べて…弾む会話



2日目

「ディズニーに行けるので『つどい』に参加した」という奨学生もいるくらいスタイルで実施した。前日渡されたバスポートと電車の切符を持って、朝食もそこそこ早い人は朝8時のオープンと同時に入場、めざすアトラクションに飛び込んだ。



奨学生には、丸太のポーターが滝つぼに急降下する「スプラッシュ・マウンテン」、機関士のいない鉱山列車が岩山を猛スピードで駆け抜ける「ビッグサンダー

親子笑顔で「ディズニーさんまい」



お母さんたちも、スリルのある乗り物を結構好んでいたが、華麗なパレード、幽霊の住む館「ホーンテッドマンション」、ハニーポットに乗って蜂蜜探しに出かける「プーさんのハニーポット」などにも魅せられていた。

旅行する機会も少ない親子が園内を散策したり、と

もに食事をしたり、などやかな雰囲気。ディズニーを楽しみながら、対話も弾んでいた。ホテルに帰ったのは、みんな遅い時間。ミッキークップを手に満ち足りた面持ちだった。



名残惜しみつつ閉会 希望者32人、心塾を見学



心塾について説明を受ける見学者

3日目

午前7時半からのバイキング形式の朝食は、この「つどい」で知り合った奨学生やお母さんが一つのテーブルを囲み、すっかり打ち解けた表情で食事。旧知の仲のような雰囲気があった。

9時から閉会式。中根晃理事が「つどい」いかがでしたか。言葉通り、一緒に語ることでできる友達と楽しい時間を過ごし、お母さんたちも気の置けない親同士の3日間だったのではないかと。この「つどい」も

あしながおじさんのお便り

今夏他界した母が、昭和63年より貴会に寄付をしてきたことを知りました。この年は私の兄嫁が突然亡くなり、残された小学生の姉妹を育てるのに苦労しておりましたので、交通遺児の方々の大変さが身近に感じられたのだらうと思

母の遺志継ぎ遺児を応援

悲しみをこらわったものは他人の痛みが分かるので、あなたの笑顔と勇気で周りの人に元気を分けてあげてください。

と、自分の望み、心の声が聞こえなくなりました。とても大切な自分自身、いらぬものは捨てて、正直に、意識して選択していきなさい。一瞬一瞬を意識して生きていきなさい。

故郷からとして香典の1部と、少しずつですが私に使用してください。

（八王子 H・Sさん）
（茨城県 T・Tさん）
（宇都宮 K・Aさん）

（横浜 E・Nさん）
（瀬戸 H・Yさん）
（西東京 T・Tさん）

（川崎 J・Sさん）

（写真・田村 歩）

卒業生含め34人参加 山梨で心塾サマーキャンプ



8月27日朝9時、バスで山梨県北杜市のウッドベックカーキャンプ場に向かった。昨年度から始まった心塾サマーキャンプ。塾生、職員、ことしは卒業生も加わり、34人の大人となった。キャンプ場に到着すると、高原の涼しさと木のいいにおいがした。キャッチボールやバドミントンを楽しんだあと、みんなで食事の準備。1時間もしないうちにできた。みんなで食べるパ

（文・三津山高治）

わが家のような安心感



忘れ得ぬホストファミリー

わたしのホストファミリーは、とても素敵で、カッパもよかったです。おばあちゃんも、とても優しく、とても楽しいです。わたしは、ホストファミリーに、とても感謝しています。

(兵庫県・福田知美)

わたしのホストファミリーは、とても素敵で、カッパもよかったです。おばあちゃんも、とても優しく、とても楽しいです。わたしは、ホストファミリーに、とても感謝しています。

(兵庫県・福田知美)

幼い兄妹から誕生日ケーキ



誕生日を迎え、ホストファミリーの6歳の女の子から、泣かないで、抱きかかってくれました。おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、とても優しく、とても楽しいです。わたしは、ホストファミリーに、とても感謝しています。

(兵庫県・福田知美)

誕生日を迎え、ホストファミリーの6歳の女の子から、泣かないで、抱きかかってくれました。おじいちゃん、おばあちゃん、みんな、とても優しく、とても楽しいです。わたしは、ホストファミリーに、とても感謝しています。

(兵庫県・福田知美)

積極的な外国の学生 授業を通じて国際交流

授業を通じて国際交流

最初のクラス分けで、カエド。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)



わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

3カ国の国旗ケーキに感動 英語への意欲の向上が収穫

カナダ



わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

異文化の誘い 人との出会い

海外語学研修特集

人に優しい仏教国 現地の学校で体使って会話

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

タイ



わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

ハワイ

わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。わたしは、ホストファミリーのメンバーです。

(秋田県・多田美穂)

先輩

お元気ですか

略歴

熊本県生まれ。九州女学院短大卒。4年の会社勤務

陶芸家 大海 智賀さん

「文化人類学か社会学で英語文化の背景にあるものを突き止めた」と留学したアメリカで、陶芸と出会い、それを生涯追求する目標にしたのが、大海さん。熊本県生まれ。高校1年の春休み、3週間のアメリカ研修旅行に参加。そこで見た大学に憧れ「いつかは留学したい」という思いを募らせた。帰国後、母レイ子さんに話をしたら「自分のお力なら、どうぞ」との返事。まさか現実のものになるとは思わなかったに違いない。



九州女学院短大卒業後、OA機器メンテナンス会社に就職。4年間で300万円を貯め、90年待望の渡米。イリノイ州のオーガスナナ大学に入学した。

運動を変えたのは、一般教養時代。芸術コースに絵画、版画などと並んで陶芸があった。口コロがあり、面白いものを作りながら単位が取れる。「もともとモノを作るのが好きだっただけに、うれしかった。そして、陶芸をめぐって芸術学部へ。

「日本と違って、アメリカの陶芸には、伝統もない代わりにしがらみもない。移民が持ってきたいろんな焼き方があり、何でも自由に表現できる。いかにもアメリカらしい開放性が大海さんをとらえた。

のち、90年留学のため渡米。93年イリノイ州のオーガスナナ大芸術学部卒。97年、97年帰国。ことし4月、九州女学院短大卒。4年の会社勤務から熊本市高森町で作陶中。

「自分の作品はこうだ」というこだわりはない。食器も作れば、造形的なものも作る。ここに来て、地域の人たちにいるような面でお世話になっている。80点出品した作品には、みんなの心に花が咲けようという、この願いを込めた」といいます。

阿蘇南麓の高森町へ移ったのは、ことし4月。廃校になった小学校跡に工芸の村ともいえるNPO法人「阿蘇フォークスクール」ができたが、常駐する人がいない。「制作する場がほしい」という大海さんが手を上げて実現した。

事務所を預かりながら、電話番から来客の応対、陶芸教室の講師もこなす。作品づくりも、もちろんここが舞台。ことし7月には、日本での初個展もここで開いた。

も釉薬も違う。日本でやっていくには、日本の陶芸を知りたい」と、熊本県宇土市の蒼土窯で伝統工芸職業訓練生として修業。「一からやり直したい」との思いだったのだから。

米留学で陶芸との出会い 「人への思い、自然を表現したい」

でのアルバイトができない。したがって、学内で陶芸や日本語などの助手をしながらのいた。「みんな貧乏だったので気にならなかった」といいます。卒業後、さらに陶芸の道を進めたいと、州立南イリノイ大エドワーズビル校大学院へ。

「六段の調べ」の陶芸には、伝統もない代わりにしがらみもない。移民が持ってきたいろんな焼き方があり、何でも自由に表現できる。いかにもアメリカらしい開放性が大海さんをとらえた。

位置得はもちろんだが、卒業論と個展開催がある。うれしかったのは、卒業が全学部の一人にしか与えられない最優秀卒業賞を受賞したこと。

「山や木、鳥」が「自然界の中の人間と表現するのが一生のテーマ」と、遠くを見据えている。花や鳥、山など自然が好き

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「自分の作品はこうだ」というこだわりはない。食器も作れば、造形的なものも作る。ここに来て、地域の人たちにいるような面でお世話になっている。80点出品した作品には、みんなの心に花が咲けようという、この願いを込めた」といいます。

阿蘇南麓の高森町へ移ったのは、ことし4月。廃校になった小学校跡に工芸の村ともいえるNPO法人「阿蘇フォークスクール」ができたが、常駐する人がいない。「制作する場がほしい」という大海さんが手を上げて実現した。

事務所を預かりながら、電話番から来客の応対、陶芸教室の講師もこなす。作品づくりも、もちろんここが舞台。ことし7月には、日本での初個展もここで開いた。

も釉薬も違う。日本でやっていくには、日本の陶芸を知りたい」と、熊本県宇土市の蒼土窯で伝統工芸職業訓練生として修業。「一からやり直したい」との思いだったのだから。

「自分の作品はこうだ」というこだわりはない。食器も作れば、造形的なものも作る。ここに来て、地域の人たちにいるような面でお世話になっている。80点出品した作品には、みんなの心に花が咲けようという、この願いを込めた」といいます。

阿蘇南麓の高森町へ移ったのは、ことし4月。廃校になった小学校跡に工芸の村ともいえるNPO法人「阿蘇フォークスクール」ができたが、常駐する人がいない。「制作する場がほしい」という大海さんが手を上げて実現した。

事務所を預かりながら、電話番から来客の応対、陶芸教室の講師もこなす。作品づくりも、もちろんここが舞台。ことし7月には、日本での初個展もここで開いた。

も釉薬も違う。日本でやっていくには、日本の陶芸を知りたい」と、熊本県宇土市の蒼土窯で伝統工芸職業訓練生として修業。「一からやり直したい」との思いだったのだから。

インタビュ

わが道



北海道ハイテクノロジー専門学校 2年 小倉 賢太君

「医学の基本を習得します。参加はしませんでした。家の事情もありました。アメリカでの研修も組み込まれていました。2年生になって、いろいろな事態を想定した講義とシミュレーション実習、厳しいテストも増えました。来月11月からは本格的な病院実習が始まります。3年生になると、専門分野の理論と並行して病院実習はもちろん救急車同乗実習も行われます。医療現場での実践的な学習内容になると思っています。特に興味を持っているのは、救急士としての業務です。救急士は、救急隊員として、消防士として、そして上下関係もきちんとしていく必要があります。小倉 使命感と、激務です。救急士は、救急隊員として、消防士として、そして上下関係もきちんとしていく必要があります。小倉 使命感と、激務です。救急士は、救急隊員として、消防士として、そして上下関係もきちんとしていく必要があります。」

救急救命士へ一直線



「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」

「救急救命士を目指したきっかけはなんですか。小倉 小学校1年のとき、父が事故死しました。救急車が着いても処置できない人がいなかったので、救急士になりたいという気持ちが芽生えました。」



米子空港から境港を經由して松江へ。カモノ舞う境水道を渡し船で渡ると、そこは町村合併で松江市に編入されたばかりの美保関町だった。松江城の近くの写真スタジオで働く奨学生のお母さん、仁宮百合子さんはこの町に住んでいる。

お母さんただいま奮闘中

松江市 仁宮 百合子さん

船着き場から国道431号を車で西進。弁慶生誕の地・長海美しい景色を左手に見て、稲穂の揺れる田を通り抜け、出発から約40分で市の中心部にあるお母さんの職場、スタジオ「アイフォート」に着いた。

なごやかに板垣さんと話しながらフィルムを整理していたお母さんは、それが終わると、板垣さんのパソコンから「水木しげるロード」で撮影した妖怪写真のデータを自分のパソコンに送信してもらい、写真の構図などを研究した。このあと、本来業務の一つの理事事務と、明日の出張撮影の準備をした。



板垣さんと話しながらフィルムを整理するお母さん



パソコン画面で写真の研究



パンフ用の「折箱」撮影

許されぬ失敗 プロの厳しさ味わう

午前9時過ぎ、撮影の機材を積み込んだ板垣さん運転の車でスタジオを出発、約40分で静かな山里

展示品の前にはガラスがあり、板垣さんが露出計で慎重に露出を計った。お母さんも水準器で直角と水平を出し、二人でカメラ位置とアングルを決めた。和紙は湿気を嫌うため冷房はなく、たちまち汗だく。OK、言うことな

過去は振り返らない 前を向いて進むだけ

出雲そばの屋敷をとり、スタジオに戻った板垣さん鼻歌交じりで出てきた。お母さんに「よかったです」

きょうの出張撮影は暑くて大変だった。こんな日の信頼して今日までの苦難の働いたあとのビールは格別道乗り越えてきた。子どもは、夕食のとき、お母さんは缶ビールを一本きゅっと飲み干した。「最高だ！」

カメラで追う 山陰の文化遺産や風物

スタジオの経営者で写真家の板垣宏さんと、お母さんがここに顔を迎えてくれた。店内に一歩入ると、目に飛び込んできたのは正面の壁に張られた松江、隠岐、日御碕の3枚の大きなポスター。日本写真家協会会員でもある板垣さんの撮った写真で製作した島根県の観光ポスターだ。

この記念館は昭和43年、雁皮紙(がんびし)の製作技術保持者として人間国宝に認定された故・安部榮四郎の手すき和紙を中心に、和紙製品や明治から昭和にかけての紙の歴史を展示している。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

親と子の信頼が 強く生きる力の源

て、母もまた子どもたちを信頼して今日までの苦難の道乗り越えてきた。子どもは、夕食のとき、お母さんは缶ビールを一本きゅっと飲み干した。「最高だ！」

や照明器具、パソコン、フィルム保存用のキャビネットが整然と置かれていた。フィルムの中には今は幻と目にした名勝「関の五本松」や「宍道湖の夕日」など芸術作品も数多い。営業品目は写真撮影とレンタル・ポジ(写真)だが、お母さんは、美術品の撮影や商業写真撮影など女性カメラマンとして活躍している。

人間国宝・芹沢銈介の型染作品を撮る

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

主人は、子どもたちを目の中に入れても痛くないほどかわいがっていたが、平成2年4月24日、車を運転中に事故で亡くなった。6歳で小1の長男、2歳の長女、それに乳飲み子の二女を残して逝った。

この記念館は昭和43年、雁皮紙(がんびし)の製作技術保持者として人間国宝に認定された故・安部榮四郎の手すき和紙を中心に、和紙製品や明治から昭和にかけての紙の歴史を展示している。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

主人は、子どもたちを目の中に入れても痛くないほどかわいがっていたが、平成2年4月24日、車を運転中に事故で亡くなった。6歳で小1の長男、2歳の長女、それに乳飲み子の二女を残して逝った。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

主人は、子どもたちを目の中に入れても痛くないほどかわいがっていたが、平成2年4月24日、車を運転中に事故で亡くなった。6歳で小1の長男、2歳の長女、それに乳飲み子の二女を残して逝った。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

このあとお母さんは、かまぼこ屋さんが結婚式の引出物に出す折詰めパンフレット用写真を撮影した。その仕事ぶりを見ながら、板垣さんが愉快そうに話してくれた。

主人は、子どもたちを目の中に入れても痛くないほどかわいがっていたが、平成2年4月24日、車を運転中に事故で亡くなった。6歳で小1の長男、2歳の長女、それに乳飲み子の二女を残して逝った。

奨学生のコーナー

沖縄県立浦添商業高校 3年

屋比久 千奈津

私の夢は、看護師になることです。あまり頭はよくないけど、定年まで働いて生活の安定している職に就きたいからです。人の命を預かるという大変な仕事だけど、人の命を助けるという大事な仕事だと思うので、決めました。

命を助ける看護師が夢

一生懸命勉強して、看護学校に受かるようにがんばります。私にはもう一つ、アメリカに留学するという夢があります。看護師になってお金を貯め、何歳になってもいいから自分のお金で留学の夢をかなえたいです。



イラスト 埼玉県立新座総合技術高校 デザイン専攻科1年 小林 吉春

燃える青春

真夏の太陽が容赦なく照りつける小山南高校の体育館は蒸し風呂のように暑かった。8月22日(月)、この学校のバドミントン部を訪ねて部活の練習と、翌日から栃木県体育館で開かれた17年度第30回高等学校学



年別バドミントン大会の試合を見てもらった。バドミントン部は部員17名の県大会(男子だけの試合)に備えて早朝開始予定

だったが、キャプテンの石川達也君らが電單車事故の巻き添えに遭い、午前10時25分から始まった。1年生部員は登校日、女子部員とともに午後から練習するので、午前中は明日の試合を控えている2年生の男子部員5人だけが練習した。



スタンドに勝利のVサイン

光と風がブレに影響するバドミントンでは、体育館の窓や扉を締め切り暗幕を張る。体感温度は40度近い。それでも選手は流汗落ちる汗をTシャツの袖で拭きながら、練習に集中していた。

部活動拝見

バドミントン部員



栃木県体育館で熱戦を展開する森・富山組(左手前)

石川・吉野組も第4試合で強敵、作新学院に敗れた。24日のシングルスには、2年生5人全員が出場。上位進出を狙ったが、一歩及ばず、石川、吉野両選手のベスト16が最高だった。このチームの森選手は、先の県大会では個人、県ベスト16という戦績を残している。ネットを越えたとこ

栃木県立小山南高校2年

森 祥樹君 (17)

これが現在、完全な形で機能しているかどうかについては議論の余地があるが、今後さらに整備されていくことは間違いない。慢性の統合失調症の人で仕事をせずに家でぶらぶらしているとか、奇行が多いなどの場合も相談に行けば解決の方向に向かうことは確かである。しかし、身内の方からの相談がない限り精神保健相談員は警察権がないので動きようがない。できてきたことなら、精神科を受診させたくないとか、薬の副作用が心配だなどと言われ

40分からは大会2日目に行われるシングルス練習に取組んだ。突然、大橋先生の鋭い声が飛ぶ。「吉野と明日のダブルスに出場するうした、もう限界なん、止まってるよ、足」。館内に緊張が走る。

た宮田海 激しいラリーが続く。初手選手が速300キロをオーバーする攻撃的なショットが、相手の試合手コートに突き刺さる。お互いに励ましあい、修正点を指摘しあいながらゲームを終えた。

森選手は小4の時、父を亡くし、中一の時バドミントン始めた。面白そうだったので部活に入ったが、勝って楽しくなったという。高校では積極的に練習に励んでいる。「バドミントンは僕にとっては周りの人たちと変わらない親友です。ちと変わらぬ親友です。悩みごとでもバドミントンで打ち消す。流す汗はどんな運動をしているときよりもいいと感じている。スマッシュが決まったとき、すかさずする。基礎練習の走り込み、素振り、ノックなど地味な反復練習は苦しいがやれば結果がついてくる」



中根 晃(元実践女子大学教授)

以前、近所の方から相談のついでに頼まれた。どうも話が違っていると気がついたので、先方がその日は都合が悪くなったと連絡してきた時である。どうやら身内に精神的に不安定な人がいて、いきさつを聞こうとしても怒ってばかりなので、精神医学の専門家に上手に聞いてもらえば解決するだろうということだわ

地域の精神保健体制

不信感となって、カウンセリンクで治した方が良く、比べて格段に充実している。カウンセリンクは正常な心理状態の人の悩みには有効だが、病的な状態の時には無効であり、かえって危険であることは、カウンセリンクを専門とする人はよく知っている事実である。ただ、カウンセリンク本格的な治療が必要だと推察された。しかし、家族は本人に病院に行こうと言ったら怒り出したので、カウンセリンク万能論観をもちた

合には家庭訪問をして本人と直接、話をしてくれるし、根気強く病院受診も薦めてくれるはずだと伝え、納得してもらった。後日、その方から親切に対応してもらったとの報告を受けた。診断名もはっきりし、それに沿って治療を受けるようになったよである。地域の精神保健体制の中心は精神保健福祉センターで、外来診療部門が、外相診療部門が、診断機能も備えているし、各種のリハビリテーション

機能も充実している。また、デイケア部門があり、引き込みも続けている人も、何らかの担当の精神保健相談員が家庭訪問によりてデイケアに通えるようになり、数段の難関を乗り越えて立ち直っていく例も多

このチームは選手のレベルが高い。明るくて個性を持った選手が協力しあって練習しているが、基本がしっかりしていて、キャプテンを中心にいきいきと楽し

さっきまで審判をしていて体をひねって打って「もっ、クリアをどんどん使え」とコンバクトに決めよ」「反声援。チームが一体になって燃えている。午後2時練習終了。明日からの試合の健闘を誓って解散した。

23日、栃木県体育館で開かれた学年別大会ダブルスは、10面のコートで午前9時、試合が開始された。小山南は善戦したが、森・富山組が第3試合で、

シリーズ

心の病気

(37)

住地区ごとに担当の精神保健相談員がいて、必要な場

を薦めた。そこに行けば居

心は精神保健福祉センターで、外来診療部門が、外相診療部門が、診断機能も備えているし、各種のリハビリテーション

森選手の強烈なスマッシュ(小山南高校体育館で)



試合を想定、狙い定めてサーブを放つ

森・富山組が第3試合で、